



2月 ほけんだより

2月25日

保健室 中村

2月も終わりに近づいてまいりました。まだまだ朝晩は冷え込み、寒い日が続いています。この寒さでも、子どもたちは朝から一生懸命運動場を走ったり、花壇の草むしりなどのボランティアを頑張ったりしています。



来週以降は、少しずつ寒さも和らいでくるようですので、今年度残り約1か月、全員元気に過ごせるように、体調管理に気を付けていきたいですね。



～命の大切さを学んでいます～

2月は、性に関する指導（性教育）週間がありました。3学期のテーマは「命」です。これまでご家庭で大切に育ててもらった命を、これからも大切にできる子どもたちであってほしいという思いを込めて、各クラス適切な時期に、性や命に関する指導を実施しています。各学年の授業の様子を紹介したいと思います。

1年生

「たいせつなからだ」というテーマで授業を行いました。体の内外の部分の名前や働きについて学びました。初めて聞く体の部分の名前を、一生懸命ワークシートに書きこんでいました。

また、聴診器で実際に心臓の音を聞き、心臓の位置やどんな音なのかをととても楽しそうな表情でお友だちと伝え合っていました。



2年生

「あかちゃんはどこから」というテーマで授業を行いました。「いのちのもと」と「いのちのたまご」が会って「いのち」が生まれたこと、お母さんのお腹の中で大切に育てられて産まれてきたことなどを学習しました。また、胎児の心音を聞いたり、妊婦体験をしたり、赤ちゃん人形を抱っこしたりするなどの様々な体験活動を行いました。「自分の命を大切にしたい。」という感想を聞くことができ、とても嬉しく思いました。



ねんせい 3年生

「命の始まり」というテーマで授業を行いました。2年生で学習した、自分の命の始まりについての復習や子どもと大人の体の違いについて話し合いを行いました。体つきの変化など様々な意見を出してくれました。そして、その体の変化は、命をつないでいくためのもので、みんなの体は、その変化のための準備を始めていることを伝えました。自分の体にも変化が現れてくるということに驚いた様子でした。



ねんせい 4年生

「体の中で起こる変化」というテーマで授業を行いました。思春期に起こる体の中や心の変化、その仕組みについて学習を行いました。初めて聞く言葉や難しい言葉も多くありましたが、真剣な表情で話を聞くことができていました。また、体の変化について相談を受けたとき、どんな返事をするかをロールプレイで実践し、思いやりのある声かけをすることができていました。



ねんせい 5年生

「受精の仕組み」というテーマで授業を行いました。受精から出産までの仕組みについて学習しました。理科で習っている知識もあったため、どの児童も積極的に意見を出してくれました。また、質問も多くあり、積極的に学ぼうとする姿勢がとても強く感じられ、クラス全体の命や体に関する学びへの意欲の高さを感じました。



ねんせい 6年生

「エイズと共に生きる」というテーマで授業を行いました。昨年度の6年生が作成したシミュレーション教材などを活用し、エイズに対する理解を深めました。授業後には、「エイズの人を差別しないようにしたい。」「差別を生まないためには、正しい情報で判断することが大切。」などの声も聞くことができました。この学びを、今後の生活にも生かして欲しいと思います。



これからも引き続き、命の大切さや尊さについて、子どもたちに話をしていきます。ご家庭でもぜひこの機会に子どもたちへ「生まれてきてくれてありがとう」のメッセージを伝えていただけたらと思います。